

「地域と共にこれからも」

公益社団法人 目黒区シルバー人材センター

シルバーめぐろ

令和3年1月1日

280号

令和2年12月1日現在

男性 752名

女性 536名

合計1,288名

発行・編集

本部：目黒区目黒1-25-26(田道ふれあい館)

TEL▶03-3793-0181 ▶FAX03-3793-0588

分室：目黒区目黒本町2-1-20

TEL▶03-5721-2593 FAX▶03-5721-2594

HPアドレス▶<https://www.meguro-sc.or.jp/>

新年のご挨拶

会長 木塚 真人



明けましておめでとうございます。会員の皆さまにはお健やかな新春をお迎えのことお慶び申し上げます。

昨年は、予期せぬ新型コロナウイルス感染症の流行の為、東京オリンピック・パラリンピックの開催が順延となる等、多くの社会活動が停止になりました。私共センターの就業や、社会貢献、会員交流などにも大きな影響がありました。

この間、会員の多くの皆さまも、自粛生活を余儀なくされ、感染症予防などに注力されてきたこととご推察致します。私たちシルバー会員は長年の経験と叡智を持ち合せている世代の集団でもあります。当面は明日を信じて、引き続き賢明な日常をお過ごし頂きますようお願い申し上げます。

また、昨年はセンターの第5次中期計画のスタートの年でもありました。このような状況下ではありますが計画書に基づき、出来ることから確実に前進させて行きたいと考えます。センターの先達がこれまで培ってきた活動を継承しつつ、状況の変化に合わせて機敏に対応していく所存です。今後一層増すことが予想される私たち高齢者の社会的役割と、引き続き推進を図るべき女性会員の増員と活動の活性化が、今後のセンターの新たな活力になると考えます。

さらに、全ての会員がいつまでも元気に活動できる組織の構築を推進します。より一層のご支援ご協力をお願い致します。

結びになりましたが、会員の皆さま並びにご家族の皆さまのご多幸と、ご健勝をご祈念申し上げまして年頭のご挨拶と致します。

新年のご挨拶

名誉会長・目黒区長 青木 英二



明けましておめでとうございます。皆様には健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も、木塚真人会長様をはじめ、役員の皆様、会員の皆様がお力を合わせて、目黒区シルバー人材センターの活動が益々で発展されることを心より願っております。

さて、昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行はおさまらず、目黒区のみならず、世界中の人々の暮らしは大きく変わることを余儀なくされました。わたくしも目黒区民の皆様安全、安心を守るために、全職員の先頭に立って、全力を尽くして新しい生活様式にあわせた区政運営に取り組んでいるところでございます。

目黒区シルバー人材センターにおかれましては、このような困難な状況におきまして、以前のように事業や地域貢献活動に取り組むことが難しくなるなど、もどかしいこともあるかと思えます。しかしながら、「コロナ後」の社会に、皆様が柔軟に対応し、感染防止に留意しながら事業を継続され、働くことを通じて健康で生きがいを感じつつ暮らしていけるような地域社会の実現に、大きく貢献なさっています。区といたしましても、シルバー人材センターと力を合わせて、活力ある地域社会と生涯現役社会の実現に向けて、さらに尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が目黒区シルバー人材センター並びに会員の皆様にとりまして、実り多き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

【センターと私】 ～生涯現役！90歳を超えても～



駒場班 / 関 福次 (94歳)

私が除草班に入ったのは、すでに入会している友人がいたことと、生家が農家の為で多少の除草の経験があったからでした。入会1日目には作業の見学。続いて鎌、熊手、箕などの工具の使い方をリーダー自ら手本を示し出来るまで親切に指導して頂きました。また、「速くきれいに、且つ発注者に満足していただけるような仕事をする事」この除草の教えを私は、現在でも心構えとしているつもりです。嬉しかったことは、依頼書に「ご指名」の言葉と作業終了後に「この次もお願い」と言われた時です。辛かったことは、自転車の鍵を無くし1時間以上も歩いて帰った時でした。老い先短い私が安心して就業できるのもセンターの存在と尊い皆様のご配慮の賜物と深く感謝しています。また、作業を共にし、何かとお力添えくださる同僚の皆様心よりお礼申し上げます。

最後にシルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご幸運をお祈り申し上げます。

“古い花を 咲かすセンター 目黒川”



八雲班 / 澤田 進 (90歳)

シルバー会員の皆様、明けましておめでとうございます。

私は、昭和5年生まれの90歳です。平成20年12月にシルバー人材センターの会員となりました。現在、マンション清掃の仕事をしています。毎朝、清掃中を通る、保育園に通うかわいいお子さんとお父さん、小中学生、会社員、外国の方々とお挨拶を交わすことが楽しみのなっています。マンションにお住まいの方々からも「おじさん、体調はいかがですか、風邪をひかないように」といつも声を掛けていただき、感謝しています。今まで、仕事で辛かったことはありませんでした。毎日が楽しく、幸せになるよう努めています。シルバー会員として、1日も長く仕事をしたいと思います。

最後に、今はコロナ禍で大変ですが、皆さん健康には気をつけて、元気に頑張りましょう。





丑年生まれのメッセージ



当センターの平均年齢(令和2年11月現在、男性76.2歳、女性75.1歳)を超える会員の中で“年男・年女”の該当者で84歳になる会員が52名いらっしゃいます。そのうち、アンケートにご協力いただいた方の新年のメッセージを掲載いたしました。(紙面の都合上、すべての方のメッセージを掲載できませんでした。ご了承ください。)

- ① 会員であることの喜び
- ② 今年の抱負
氏名(地域班名)



櫻井 清乃
(碑・大岡山班)

- ① 会員の皆様はとても教養のある方の集まりだと思います。ボランティア精神がおおせいで、とても良い雰囲気の間です。嬉しい限りです。
- ② 会員番号(2737)から分かるように体力的にとっても皆さんについていくには抵抗があります。仕事は“のんびり”とはいきませんが、焦らず頑張っていきたいと思っています。



倉田 よし子
(駒場班)

- ① 会員になり約18年。初めの10年間は、毎日就業いろいろな仕事をさせていただきました。除草がメインです。都会の真ん中にいて自然に向き合えて幸せですし、地元を知る機会も得て感謝です。
- ② 腰痛がありますが、除草の仕事がストレッチでありリハビリでもありますので一日でも長く就業したいと思います。働ける場があることに感謝しています。



大内 雅志
(下目黒班)

- ① この年になるまで、働けることの幸せ・健康でいられることの幸せ。
- ② 今年も元気で働ける健康を保つこと。



森田 一枝
(向原班)

- ① 入会して多くの皆様と出会い、会員であることを幸せに思い、シルバーに感謝し健康に気を付けてまいります。
- ② コロナウイルスに気を付けて、健康で頑張ります。



谷口 寿男
(上目黒班)

- ① 駒場野公園管理業務を行っていますが、園内巡回や清掃時、来園者に声掛けを心がけることで、互いに気持ち良くなると思っています。皆さんもやってみませんか?
- ② コロナ禍の最中、十分に注意しながら、今年もシルバーの業務を元気に続けていけることを願っています。



小林 富三
(中根班)

- ① 多彩な才能をもった方との出会い。
- ② これからの仕事を集大成として、シルバーを終わりにしたい。



塩原 啓作
(油面西班)

- ① 入会して14年です。孤独老人に成らず、長寿を全うでき幸せです。会員の方と楽しく会話できた事も喜びでした。
- ② コロナ感染が終息し、東京開催の世界の祭典を祈念して成功を喜びたい。自由で気儘な旅に出、人生街道の終焉の準備に入りたい。



小島 幸子
(烏森班)

- ① 様々な人生を生き抜いてきた人達との繋がりができ、新しい友人ができました。嬉しいことです。頭と体を使い良い汗を流しています。
- ② 先ずは健康第一。今日一日の目標を立てスタート。笑顔を忘れず、感謝の出来る日々を送っていききたいと思います。



田中 公治
(下目黒班)

- ① パソングループに属し、俊才に師事して知識を深め得ること、昔乍らに教鞭をふることに無上の喜びを感じます。生涯一教師(理想)、しょうがない愚痴狂恣(現実)。
- ② 末期高齢者の僕には抱負など有りませんが、貢献活動が再開の暁には、他グループの会員に久闊を叙し、従来通り皆勤する心算です。七重なる干支の廻りしシルバーに 明日もあらなむ花の友垣(公丸)



立入 俊道
(大岡山西班)

- ① 平成16年に入会しここまでテニスやスキーを続けられる健康を維持できたことは、仕事を続けたことが大きく影響したと思います。身近なところにすばらしい仲間も増えました。
- ② 自然から恩恵を受けて生かされていることに感謝し向上心を失うことが無いように努力することが大切だと考えています。今後できるだけ長く仕事を続けさせて頂きたいと思えます。

コロナ感染症の対策を講じて会議・研修会が開催されました。



就業リーダー会議

令和2年9月25日、28日

令和2年度第2回就業グループリーダー会議は、感染症対策のため3回に分けて開催しました。例年実施しているディスカッション形式のグループ討議は実施せず、リーダーの役割、個人情報保護についての説明や、「働きやすい就業環境づくり」をテーマに事故発生時の報告、適正な就業、働きやすい就業環境(職場におけるハラスメント防止)など、グループの就業環境の課題を研修しました。



地域班長会議

令和2年10月30日

令和2年度第2回地域班長会議は、感染症対策を講じたうえで全21地域班の班長(代理含)の出席のもと開催しました。各委員会報告のほか、「地域班役員の役割と業務の具体化について」を主題とした意見交換を行い、コロナ禍における地域班活動の課題や今後の方針に関する要望など、沢山の意見が交わされました。こうした意見を踏まえ、センターでは今後の地域班活動支援策について検討を進めていきます。



入会1年目研修会

令和2年10月5日~7日

今年度の入会1年目研修会は、感染症対策として参加者の密集を緩和するため6回に分けて開催しました。出席者は男性37人、女性37人でした。センターの事業理念と組織活動、会員の就業、地域貢献活動、健康管理と安全就業、適正就業の推進、事務局の組織と役割などの講義を行い、センター事業に対する理解の深化を図りました。質疑応答では就業に関する質問や相談が多く寄せられ、会員の皆様のご意見を聞き、お答えする貴重な機会となりました。



家事援助サービス研修会

令和2年11月17日、18日

東京しごと財団で職業訓練講習を担当している講師をお招きし、家事援助サービス研修会が2日間開催されました。参加人数は、両日合わせて22名でした。洗剤の種類や使い方・床面の材質にあった清掃の仕方など、多岐に渡っての講義があり、その後実地研修が行われました。雑巾の絞り方・床拭きを一回で済ませる方法など、家事援助サービスの就業に大変役に立ち、且つ自宅でも今年の大掃除に活用できる有意義な研修となりました。

